

レッスン：

Intro Lesson (Ages 8-14) 「はじめの一步(8歳から14歳)」



概要：

対象年齢	8歳から14歳
所要時間	40分から1時間
目的	あいさつ、相手のことをたずねる・自分のことについて質問に答える、助動詞を使ってしてもよいこと・いけないことについて話す、教室の文房具の名前を理解する
基本文	"What's your name", "My name is...", "Where are you from?", "What pet do you have?", "What is your favorite food/drink/color?", "How many brothers and sisters do you have?"
学習する単語	pet, food, drink, color, brother, sister, can, can't, must, mustn't, pen, pencil, eraser, crayon, ruler, stapler, staples, glue, paper, folder, hole punch, pencil sharpener, white out, scotch tape, pencil case, marker, calculator

ダウンロードする資料：

印刷可能な資料：	<ul style="list-style-type: none">• "Class Survey Intros" ワークシート• "Classroom Objects" ワークシート
----------	---

上記の資料は <http://www.kodomoeigokyozei.jp/esl-kids-lesson-plans.html> からダウンロードできます。

その他に用意するもの：

- 名札
- 小さなボール
- ポスター用の紙(4~6人のグループに1枚ずつ)
- マーカー(いろいろな色)
- 教室の文房具(ペン、えんぴつ、消しゴム、クレヨン、ものさし、ホチキス、ホチキスの針、のり、紙、フォルダー[書類ばさみ]、ホールパンチ、えんぴつ削り、修正液、セロテープ、ペンケース、マーカー、計算機など)
- 黒板とチョークまたはホワイトボードとマーカー

子どもたちが用意するもの

- ペンまたはえんぴつ
- 紙またはノート

メモ：

このレッスンを通して、8歳から14歳の大きな子たちはお互いのことを知り、教室でのルールを学びます。これからのレッスンに向けて準備することができるでしょう。(What、Where など)「W」や(How など)「H」の質問、してもよいこと・いけないことについて話すときに使う助動詞、文房具の名前も練習します。

レッスンの概要

ウォームアップと復習：

1. あいさつと名前
2. 名札

新出内容とレッスンの実施方法：

1. 「Ask Me」のアクティビティをする
2. 質問をする練習・答える練習をする
3. 「class survey」をする
4. 「Classroom Rules poster」を作成する
5. 教室にある文房具クイズ
6. 「What's missing?」をする

まとめ：

1. 宿題を出す：「Classroom Objects」のワークシート。
2. 「Quick Check」をし、(先生とみんなに) さようならを言う

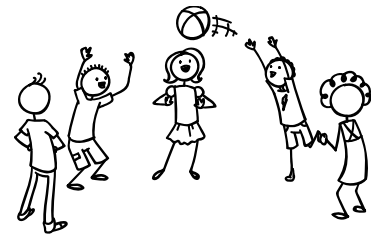
レッスンの流れ：

ウォームアップと復習：

1. あいさつと名前

子どもたちが教室に入るときにはあいさつをし、ジェスチャーで座りましょうと伝えます。

子どもたちが座り落ち着いたら、先生は「My name is ...」を使って自分の名前を言います。それからみんなに立つように言います。スペースに余裕があれば、輪になりましょう。ボールを取り出し、それを持って先生自身の名前を言います。そして誰か1人にボールを投げ、その子は自分の名前を言います。子どもたちはランダムに誰かにボールを投げ、投げられた子はキャッチして自分の名前を言います。



次にさっきと同じようなボール投げをしますが、(今度はキャッチするときに)自分の名前ではなく、(自分に)ボールを投げた子の名前を言います。まず、先生は誰か1人に(先生に向かって)ボールを投げるように言います。先生はキャッチして投げた子の名前を言ってください。そして誰かほかの子にボールを投げ、ボールをキャッチした子は先生の名前を言わなくてはなりません。名前を間違えたり思い出せなかったりしたときは3回(ボールが3度投げられキャッチされるまで)休みです。アクティビティが終わるころには、誰もがみんなの名前を覚えていることでしょう。

2. 名札

レッスンの前に何も書かれていない名札(貼るタイプまたはピンで留めるタイプ)を用意しておきましょう。名札を配り、各自自分の名前を書いたら、それを着けてもらいます。ピンで留めるタイプの場合は、先生が名札を管理し、レッスンのたびに手渡してあげましょう。日本語などアルファベット以外で書いている子がいたら、アルファベットで書いてもらうようにしましょう。自分の名前を1度もアルファベットで書いたことがない子がいたら、先生が手伝ってあげてください。(事前に名前を別の紙に書いておき、それをまねして書いてもらうとよいでしょう。)



新出内容とレッスンの実施方法：

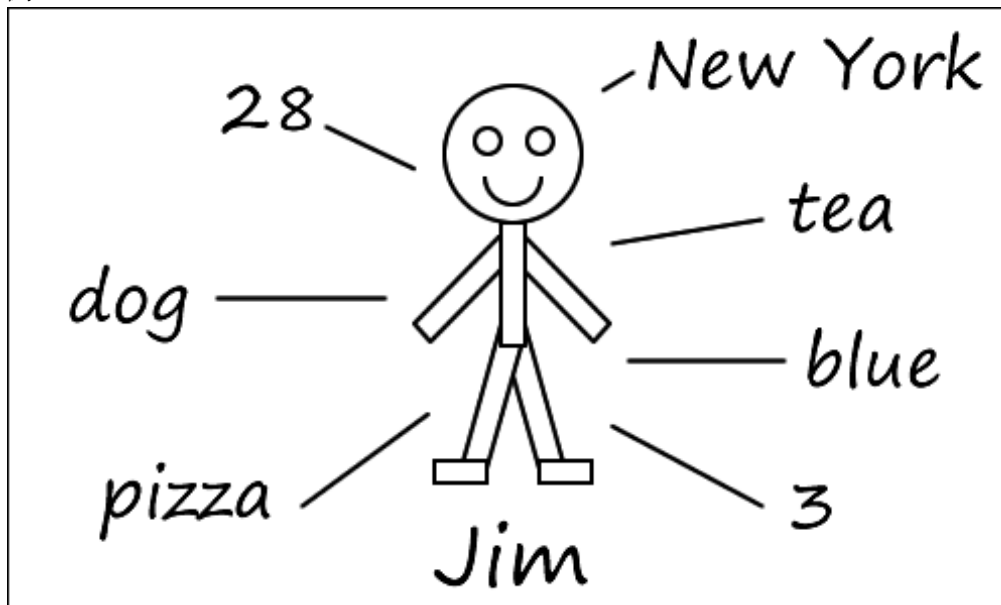
1. 「Ask Me」のアクティビティをする

ボードに小さな棒人間を描き、その下に先生の名前を書きます。

そして次の質問の答え(答えだけ)をボードの棒人間のまわりに書きます。

- *Age:* How old are you?
- *Hometown:* Where are you from?
- *Pets:* What pet do you have?
- *Food:* What is your favorite food?
- *Drink:* What is your favorite drink?
- *Color:* What is your favorite color?
- *Brothers / Sisters:* How many brothers and sisters do you have?

例：



このアクティビティの目的は、子どもたちに何についての答えか、どんな質問に対する答えなのかを考えてみてもらうことです。次の質問をボードに書き、アクティビティを始めましょう。

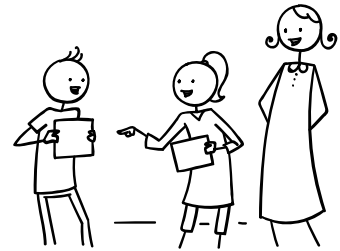
- *Name:* What is your name?

質問を書いたら、ボードに書かれている先生の名前を指さしましょう。

次に、ボード上で先生の出身地を指さし、「Where are you from?」と言う質問をなるべく子どもたちから引き出しましょう。質問を引き出すか導入したら、それをボードに書きます。(子どもたちから引き出しながら) 質問を全て書きましょう。

2. 質問をする練習・答える練習をする

子どもたちに、紙に棒人間を描いてもらいましょう。その下には各自自分の名前を書きます。それから質問に対する答えを紙に(棒人間のまわりに)書いてもらいましょう。基本的に、先ほど先生がボードでしたのと同じようにします。続いて子どもたちを2人1組にし、相手について質問したり、質問に答えたりする練習をしてもらいます。この間に先生は子どもたちの間をまわり、練習の様子を見たり、ミスや発音についてアドバイスをしたりしましょう。常にたくさんほめてあげるようにしてください。



3. 「class survey」をする

子どもたちに「survey sheet (アンケートシート)」を配ってください。表の1番上の欄を見せ、アンケートを完成させるには、8人に質問をしなくてはならないということを理解してもらいましょう。念のため、誰か1人に先生と一っしょに見本を見せてもらいます。先生は質問をし、その子の答えを書きとってください。続いて子どもたちに教室の中を歩きまわってアンケートを完成してもらいましょう。



4. 「Classroom Rules poster」を作成する

子どもたちのレッスンで、ルールやしてよいこと、いけないことを決めておくのはとても大切なことです。してもよいこと、いけないことが分かると子どもたちは安心できるのです。最初の段階でこれをはっきり伝えておくこと今後のレッスンを進めやすくなるでしょう。ルールを楽しく教えることは可能です。「can」「can't」「must」「mustn't」など、助動詞の練習にもぴったりですよ。

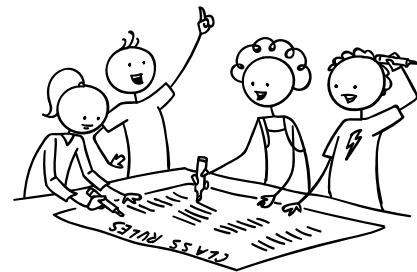
まず、ボードに以下のような表を書きましょう。

Our Classroom Rules			
We can	We can't	We must	We mustn't

表の各欄について説明し、子どもたちから以下を引き出しましょう。

- We can = it is ok for us to do. E.g. "We can ask our teacher questions"
- We can't = it is not ok for us to do. E.g. "We can't talk while our teacher is talking"
- We must = very strong - things we have to do. E.g. "We must do our homework"
- We mustn't = very strong - things we never do. E.g. "We mustn't take things without asking"

続いて、子どもたちを 4~6 人のグループに分けます。各グループに大きな紙とマーカー(いろいろな色)を配り、ルールポスターを作成してもらいます。先ほど先生が書いた表を書きうつしてもらいましょう。続いてルールポスターには、(各グループ)思いつくルールをできるだけたくさん書かなければならないことを説明します。子どもたちがよいと思うなら、ちょっと変なルールを書いても構いません。



メモ：まだ文章を書けない場合は、思いついたルールを絵で描いてもらってもよいでしょう。

ルールの例：

We can	We can't	We must	We mustn't
ask our teacher questions	talk while our teacher is talking	do our homework	take things without asking
talk to others in English	use (our native language) when talking to the teacher	respect each other	fight, hit or kick anyone
help other students	bring food or drinks into class	turn off our phones	bring any electronic devices to class (e.g. games)
	start packing up before the teacher tells us to	bring our books, folders, pens, etc. to every class	treat others badly
		stay in our seat	be rude to anyone
		raise our hand to answer questions	
		be in the classroom on time	

子どもたちがポスターを作成している間、先生は各グループをまわり、文法、語彙、スペルなどについてアドバイスをしてください。また、先生が子どもたちに守ってほしいルールが書かれているかどうか確認してください。いろいろな色を使い、絵も描いてもらいましょう。楽しくて魅力的なポスターにしましょう。

ポスターが完成したら、(グループ全員に)署名してもらいます。こうすることで、教室での「約束」としてルールが子どもたちの印象に残りやすくなるでしょう。これからのレッスンでルールが守られなかったら、(守らなかった子の署名があるポスターの)ルールを指さし、確認してもらいましょう。

最後に子どもたちは壁にポスターを貼ります。それから各グループ、ルールポスターをみんなに発表してもらいます。助動詞を使う練習になりますし、ポスターがきっかけとなりいろいろな意見が出るでしょう。

5. 教室にある文房具クイズ

レッスンの最後に、教室にある文房具に関する楽しいアクティビティをしましょう。レッスンの前に、たくさんの文房具を箱に入れて準備しておきましょう。準備する文房具：ペン、えんぴつ、消しゴム、クレヨン、ものさし、ホチキス、ホチキスの針、のり、紙、フォルダー[書類ばさみ]、ホールパンチ、えんぴつ削り、修正液、セロテープ、ペンケース、マーカー、計算機など

子どもたちを4~6人のチームに分け、これから先生が見せる文房具の名前を紙に書くよう伝えます。正解すると、以下のように得点がもらえます。

- 正解(単語もスペルも正しい場合) : 3点
- ほぼ正解(単語は正しいがスペルにミスがある場合) : 2点
- 少し正解(「pencil sharpener」が「pencil sharp」などになっている場合) : 1点

勝ったチームには賞品があることを説明しましょう。(シールやキャンディを用意しておいてください)

先生は文房具を取り出して見せ、チームみんなで考えて答えを書きます。知っている文房具もあれば、知らないものもあるでしょう。

最後に、他のチームと答えを書いた紙を交換して答え合わせをし(ほかのチームの紙を)採点します。勝ったチームに賞品を渡しましょう。

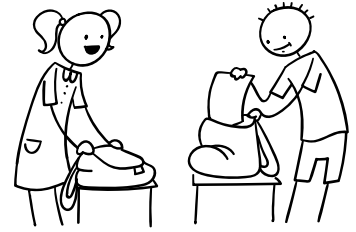


6. 「What's missing?」をする

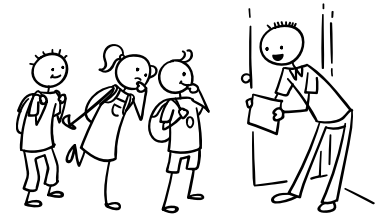
最後に、みんなから見えるように文房具を並べます。目を閉じるように言い、アイテムを1つ隠します。先生は「Open your eyes」と言い、子どもたちは無くなったアイテムの名前を大きな声で言わなければなりません。他のアイテムも同じようにしてください。

まとめ：

1. 宿題を出す：「Classroom Objects」のワークシート。
宿題のワークシートを子どもたちに見せ、見本を見せます。
ワークシートを配り、「Put your homework in your bags.」と言いましょ



2. 「Quick Check」をし、(先生とみんなに) さようならを言う
帰る時間になりました。教室がかたづいているか、忘れ物はないか確認しましょ
子どもたちにドアのそばに並んでもらい、先生は子どもたちとドアの間に立ちます。こ
こで1人1つずつ、新出単語の確認をしましょ。(例：文房具を1つ見せ「What's this?」とたずねるなど) 子どもたち
が答えたら「goodbye」と言い、教室を出てもらいましょ。
正しく答えられなかった場合は、列の最後に並び、順番がきたらもう1度挑戦してもらいま



- このレッスンプランで使用した絵カード、ワークシート、工作シート、リーダーズ、歌は全て kodomoeigokyozaai.jp/esl-kids-lesson-plans.html からダウンロードできます。
- kodomoeigokyozaai.jp/esl-kids-lesson-plans.html には無料でご利用いただけるレッスンプランが多数あります。

サイト上にミスがあった場合は <http://www.kodomoeigokyozaai.jp/contact.htm> にご連絡ください。

このレッスンプランはこども英語教材(<http://www.kodomoeigokyozaai.jp>)が作成したもので、著作権の保護下にあります。